

「食と緑の科学資料館」の愛称募集

信州大学農学部長 唐澤 豊

信州大学農学部では、平成 16 年 12 月以来、創立 60 周年記念事業として「食と緑の科学資料館」の建設を決め、地域の皆さま、卒業生、関連業界の各位、在学生、教職員の絶大なるご協力のもとに資金の造成に努め、昨春秋以来建設を進めてきたところでございますが、来る 5 月中旬には完成の運びとなり、竣工式、開所式、記念講演会を 5 月 26 日（土）に挙行することを計画しています。

つきましては、下記に記したような趣旨での資料館の建設でありますので、親しみやすい「愛称」を募集したいと思います。奮ってご応募頂きますようご案内申し上げます。

記

「応募条件」

- ・応募期限：平成 19 年 5 月 15 日必着
- ・応募方法：電子メール agrpost@shinshu-u.ac.jp
郵送 〒399-4598 上伊那郡南箕輪村 8304 信州大学農学部庶務係 担当小池、
または農学部内の所定の箱へ投函
- ・応募内容：記述内容（愛称、愛称の由来等その理由）、書式自由
- ・採用分には薄謝を進呈します。
- ・応募したものは返却しません。
- ・採択結果については農学部ホームページ等で発表します。
- ・採用したものの権利は信州大学農学部に帰属します。

「建設趣旨」

フィールドとそれに根ざした農林業およびそれに係わる技術の持つ教育力には、大変大きなものがあります。にもかかわらず、近代科学の力を借りた近年の農林技術は圧倒的な力で自然と対峙しこれをねじ伏せるように、自然に密着した農林業のもつ教育力を忘れつつあります。しかし、近年の自然環境の破壊と変異および児童・生徒の自然離れは甚だしく、今こそかつての自然に従属するように見えながら共生して来た先人の多くの知恵と経験に回帰して学ぶことが重要であります。



建設が進む「食と緑の資料館」

今まで信州大学農学部では、教員個々に植物や動物の標本を収集し教育・研究に活用してきましたが、現在ではその量も膨大になり、整理が行き届かないために荒れるに任せているもの、保管が悪いため痛みが激しく供用に耐えられないもの、整理されていないため利用に大変な不便があるもの、ものによってはすでに部分的に散逸しているものがあるなど、貴重な資料や標本を整理し一元的に管理することおよびこれらを一層活用することが必要になってきています。

またこれらの貴重な資料や標本は、ただ学内で利用するだけに止まらず、社会教育や生涯教育、さらには子供たちの、食育教育、自然教育にも活用することを考えています。